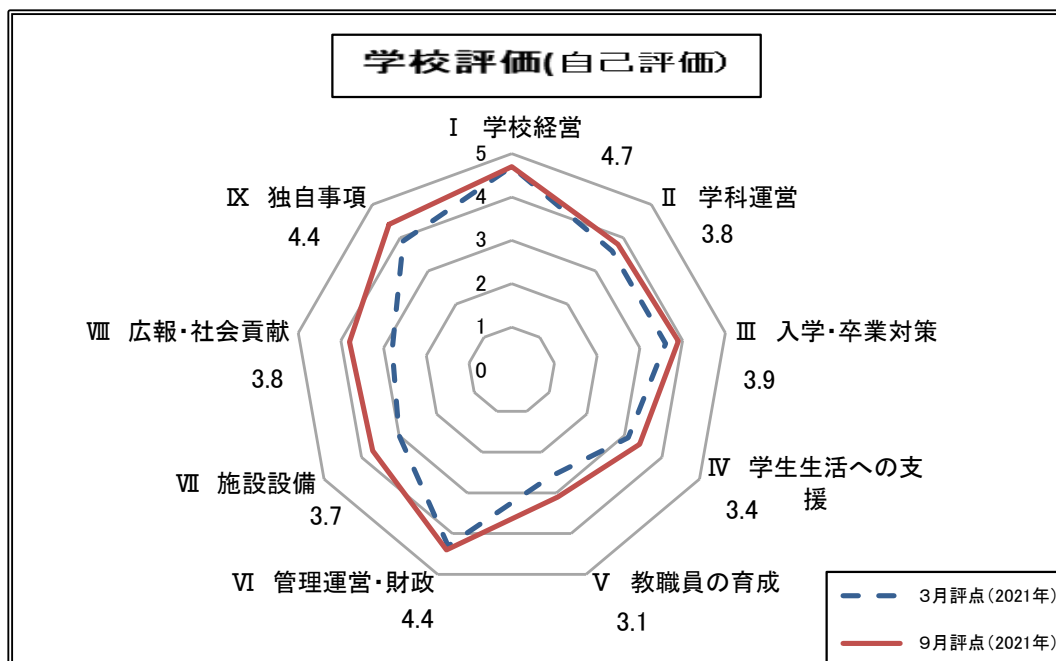


令和3年度 学校運営自己評価結果(中間評価)

本校は教育の質の向上とより良い学校運営をめざして、教員による「学校評価」を実施しています。今年度は評価項目を見直し、9領域42項目について、9月、3月に5段階評価（良い「5点」、やや良い「4点」、普通「3点」、やや不十分「2点」、不十分「1点」）を行い、カテゴリごとの平均点を表しました。



全体の平均点は、3.9点(前回3.5点)と向上しており、すべてのカテゴリが普通以上です。

【I 学校運営】 組織目標・年間運営計画を意識し取り組みました。中間評価を実施し、達成度の評価と計画の一部修正を行いました。職員間で課題・方策について共有し、下半期の取り組みに活かします。

【II 学科運営】 感染予防対策を講じながら、講義・実習・学校行事がほぼ予定通り行えました。新カリキュラム編成については、教員全員で検討を重ね、教育目標達成のための教育課程が明確になりました。今後は新カリキュラムの運用準備とともに、今年度の授業評価、卒業生調査、卒業時調査等の分析結果をもとに教育活動の課題を明らかにし教育に活かします。

【III 入学・卒業生対策】 入学生確保のための広報活動を継続しました。下半期には就業促進・就業定着支援として、在校生や卒業生対象の「卒業生と語る会」、「卒業生交流会」を計画しています。

【IV 学生生活への支援】 心理面や生活面の支援として、担任・副担任による面談、総務課による高等教育無償化制度をはじめとする修学支援の情報提供を適時におこないました。9月に第1回生活実態調査を実施し、下半期の学生生活の支援の参考にします。

【V 教職員の育成】 職員会議ではテーマを設け、職場研修を実施しています。ICT環境の整備により、教員は計画的にWeb研修に参加し、教育実践能力の向上に努めています。教育の質向上のために教員間の授業参観、臨地実習ミーティングを継続しています。

【VI 管理運営・財政】 予算計画、年間行事計画を策定し、適正な予算執行に取り組みました。危機管理対策として、防災・防犯に関する講習会や訓練を実施しました。

【VII 施設設備】 校舎・寄宿舎の空調設備改修工事を行い、学習および生活環境が整備に取り組んでいます。今後も計画的な設備改修に取り組めます。

【VIII 広報・社会貢献・地域活動】 受験生・在校生・卒業生の目的が達成できるよう、ホームページの適時更新、様式更新に取り組みました。学生自治会(ボランティア委員会)を中心に地域の清掃活動を行いました。

【IX 独自項目】 個室化および生活上のルール設定等により、寄宿舎の感染予防対策が行えています。学生役員を中心に寮運営を行い、教職員が支援しています。